

広域連携かながわ

図上訓練

第1回 @オンライン

神奈川県災害を知り、地域の課題を知り
平時から顔の見える関係をつくる

DAY1 2021. 1. 7(木) 10:00-16:30

神奈川県で起きうる災害に対し、できること取り組めることを考えよう

DAY2 2021. 2.11(木祝) 10:00-16:30

被害状況やニーズの多様さを知り、つながるためのアクションを考えよう



申込方法

右記URL又は右のQRコード <http://www.wac-k.org/entry>
あるいは問い合わせ先メールアドレスにて必要事項を送付
(詳細裏面参照: ※1日だけの参加も可能です)



参加環境

オンライン会議ツールZoomを使用できる環境
(申込者には各日前日までに参加用アドレスを共有します
下記メールアドレスが受信できるよう設定をご変更ください)

参加費

無料

定員

員

200名

[主催] 広域連携かながわ図上訓練実行委員会 (<http://www.wac-k.org>)
(連絡先 <http://www.wac-k.org/contact> からお問い合わせください)

■共催: 関東学院大学 ■後援: 神奈川新聞社/神奈川県社会福祉協議会
■協力: 神奈川県共同募金会/神奈川県立かながわ県民活動サポートセンター
この事業は、NHK歳末たすけあい配分金により実施、協力を頂いております

申込方法 チラシ表に記載の申込サイトから登録又は以下のとおりメールにてご送信ください

[送付宛先] contact@wac-k.org

[申込内容] メールタイトルを「**図上訓練申込**」としていただき以下の内容をお知らせください

- ①お名前 ②ご所属 ③お電話番号(緊急時連絡用) ④メールアドレス
⑤参加日(「1/7・2/11両日」、「1/7のみ」、「2/11のみ」のいずれかを記載)

※取得個人情報は、イベントに関する連絡、当団体主催イベントやお知らせのご案内のみに使用します。
個人情報の利用目的変更の場合は、別途電子メール又は当団体webサイトでその旨をご連絡します。

実施概要	内 容 (講 演/分科会 など)
【1日目】 2021年1月7日 (木) 10:00~16:30 (受付開始 9:30) 神奈川県で起きうる 災害に対し、できる こと取り組めることを 考えよう	【講演1】 『神奈川県で予想される災害とそれに対応するには』 規矩 大義 氏 (関東学院大学 学長) 【講演2】 『被災地支援活動で求められる連携とは?』 明城 徹也 氏 (NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長) 【ワークショップ】 基調講演の後は、神奈川県の災害想定をふまえて、地震を想定した場合の被害想定と災害支援のあり方、自分の取り組めることなどについて考えるワークショップ ●その他、平時から顔の見える関係をつくる交流会 など
【2日目】 2021年2月11日 (木祝) 10:00~16:30 (受付開始 9:30) 被害状況やニーズの 多様さを知り、つなが るためのアクションを 考えよう	【県内災害の対応事例】 令和元年に発生した台風で被災された県民の方のお話を聞き、ご自身のお住い、または勤務されている地域で発生した時に思いを馳せ、参加者の皆さんで意見交換をしていただきます。 【分科会】 被災された方の生活復興に寄り添える内容の分科会(「避難所」「資料保全」「市民活動」)のどれかにご参加いただきます。 被災された方とのかかわり方やかわる時期はそれぞれ異なりますが、そうした活動内容を知り自分とのかかわりから自分ができうることについて話し合ってください。 これらを通して多様な個人・団体とつながるためのアクションを考えます。 (分科会1) 避難所 避難所生活は住民の”生活の質”に多大な影響を与えます。避難所運営関係者等にとって大切にしたい部分を一緒に探してみませんか。 (分科会2) 資料保全 水に濡れた記録を捨てないでください。あなたの/誰かの権利や尊厳を守ることに繋がります。そのような活動にふれてみませんか? (分科会3) 市民活動~暮らし防災~ 様々な専門性を持つNPO・市民活動団体、企業、行政、社協等がつながり、困り事を解決したり、普段の生活の中でも情報の共有で課題解決できるような仕組みを作るにはどうしたらいいか、考えませんか? ●その他、平時から顔の見える関係をつくる交流会 など